

つせけん 宮都字

CONSTRUCTION

vol. **315**

2019

【題字】 宇都宮市長 佐藤栄一 様





新年度に向けて

一般社団法人 宇都宮建設業協会

会長 増 渕 薫

新元号が「令和」に決まり、日本は高まる期待とともに新たな時代へ突入しました。30年余り続いた「平成」への感謝とともに、「平成」はどんな時代であったか私なりに総括してみますと、高度成長期の「昭和」が終わり「平成」を迎えたと同時にバブルがはじけ、日本経済はここから平成不況と呼ばれる長い低迷期に入りました。また、消費税が初めて導入されたのも平成元年であります。つまり、消費税は平成とともに始まったのです。3%の税率も平成9年に5%、平成26年に8%と段階的に上がり、新元号が「令和」に決まった今年、税率10%への増税、軽減税率導入と消費税も新たな転機を迎えようとしております。

一方、我々に関わる入札契約制度は、平成13年に地方公共団体に対して抜本的な入札契約制度の改革を促す「入札契約適正化法」の施行、17年には「公共工事品確法」の施行とともに「価格のみの競争」から「価格と品質」の両面から競争する「総合評価落札方式」が導入され、指名競争から一般競争入札への運用拡大など、多様な入札方式へと大きく変革しました。

いずれにしても「平成」という時代は、我が国にとって戦争もなく平和な時代であった一方、阪神淡路大震災や東日本大震災、熊本地震等の巨大地震が相次ぎ、雲仙普賢岳や御嶽山の火山噴火、そして平成最悪の水害といわれた西日本水害等、記憶に残る大きな自然災害に見舞われた時代であったような気がしております。

さて、「平成」から「令和」へと移り、新年度事業が本格的に始まりますが、令和元年度の政府予算では、公共事業関係費が前年度を大幅に上回る6兆9,099億円（前年度比15.6%増）が確保されていると

ともに、「防災・減災、国土強靱化3か年緊急対策」の関連事業費1兆3,475億円が盛り込まれており、近年頻発する自然災害への対応が期待されるところであります。

公共事業費は、自民党政権に復活してから安定的に推移しているものの、平成9年度のピーク時予算（当初予算ベース）には程遠いものがある一方で、建設投資に偏りが見られ、大都市と地方との地域間格差、大企業と中小建設業との企業間格差が拡大化し、将来に備えた設備投資や人材確保・育成に慎重にならざるを得ない状況にあります。

また、本年4月からは「働き方改革関連法」が施行され、長時間労働が避けられないとされてきた建設業界にも、5年間の猶予期間があるものの、時間外労働の罰則付き上限規制が適用されることになりました。

建設業界は、日本全体の生産年齢人口が減少していく中で、将来にわたって担い手を確保・育成していくには、これまでの慣習を拭い去り、長時間労働の是正や週休二日制の確保等、労働環境改善への取り組みを、業界を挙げて取り組んでいかなければならないと強く感じているところであります。

今年度も自国第一とする保護主義の台頭や米中貿易摩擦、イギリスのEU離脱等、海外経済の動向や、10月の消費税引き上げの影響等、日本経済の先行きには不確実なものがありますが、地域の基幹産業であるとともに「守り手」として、社会資本整備をはじめ異常気象時の対応や地域貢献活動等、地域に根差した各種事業に取り組んでいく所存でありますので、会員各位の一層のご理解・ご協力をお願い申し上げます。

令和元年度 通常総会

2019.5.20

「令和」という新たな時代を迎え

令和元年5月20日（月）宇都宮東武ホテルグランデにおいて令和元年度通常総会が開催されました。

冒頭、増淵会長は挨拶にて「日本は高まる期待とともに、5月1日から『令和』という新たな時代に突入しました。しかしながら建設業界は、人手不足が深刻な問題になっており、将来にわたって人材を確保・育成していくには、労働環境改善への取り組みを、業界を挙げて取り組んでいかなければならないと強く思っております。加えて、日本経済の先行きには不確実なものがありますが、地域の基幹産業として、社会資本整備をはじめ異常気象時の対応や、地域貢献活動等、地域に根差した各種事業に取り組んでまいる所存であります。」と新たな令和という時代への抱負を語りました。

総会に先立ち、永年勤続役員及び永年勤続委員表彰が行われ、受賞者を代表し末長修一理事へ感謝状



増淵会長

が授与されました。

その後の総会では円滑に議事が進行し、平成30年度事業経過・収支決算報告及び令和元年度事業計画・収支予算案ともに原案どおり承認されました。

今年は総会の後、令和時代の幕開けを記念し、宇都宮市長佐藤栄一様、上三川町長星野光利様をご来賓に迎えての懇親会が開催され、終始和やかな雰囲気のもと会員同士、新時代への展望などが話し合われました。

令和元年度の主な事業

1. 建設業の技術の向上及び経営の改善に関する研修会の開催（公益目的事業）
2. 建設業に関する情報の収集及び提供並びに関係法令の調査研究
3. 災害時の緊急対応等住民支援活動の推進（公益目的事業）
4. 地域における建設業に関わる人材育成並びに就業支援事業の推進（公益目的事業）
5. 地域環境美化活動の推進（公益目的事業）
6. 社会、公益に貢献する団体等が主催する事業に協力及び助成（公益目的事業）
7. 子供や高齢者が安全で安心できる社会の実現に向けた活動の推進及び団体等の事業に協賛（公益目的事業）
8. 機関誌等の発行による地域社会に対する情報発信活動
9. 地域住民の安全確保のために行う建設工事現場安全パトロールの実施（公益目的事業）
10. 暴力団及び反社会的勢力対策のために行う普及啓蒙活動（公益目的事業）（阿久津）



佐藤栄一宇都宮市長



星野光利上三川町長

永年勤続表彰

受賞者

永年勤続役員15年 末長 修一氏《末長建設(株)》
 永年勤続役員10年 野澤 充広氏《(株)野澤実業》
 永年勤続委員25年 上野 勝弘氏《上陽工業(株)》
 永年勤続委員15年 鹿野 雄久氏《鹿野建設(株)》
 永年勤続委員15年 渡邊 幸雄氏《中村土建(株)》

おめでとうございます



感謝状授与

新任挨拶



地域の安全と発展をめざして

栃木県宇都宮土木事務所長 竹 中 弘 幸

この度、栃木県宇都宮土木事務所長に就任しました竹中でございます。

宇都宮建設業協会の皆様におかれましては、日頃から管内の事業推進、異常気象や災害対応など、様々な面で御尽力いただいておりますこと、あらためて厚く御礼申し上げます。

当管内は、県土の約7%の面積に、4分の1以上の人口が集中する栃木県の中心地域で、様々なプロジェクトが進められておりますが、事務所の事業としましては、LRT、大谷スマートIC、日光宇都宮道路IC、そして総合スポーツゾーンの、それぞれの関連道路の整備を推進しております。また、地域の成長を支える幹線道路として、「常総・宇都宮東部連絡道路」と「茨城西部・宇都宮広域連絡道路」の整備、まちづくりや暮らしの安心を支える都市計画道路の整備や歩道等の整備、県民を守る災害に強い河川や砂防施設の整備、構造物の耐震化や長寿命化、及び既存施設の様々な維持管理等を進めています。

これらの社会資本の整備と健全性の維持は、次の世代が安心して質の高い生活を続けていくために不可欠な、将来にわたって基盤となる資産の形成・維持であり、当事務所は引き続きその推進に努めてまいり所存でございますが、その実現を担っていただいているのは、宇都宮建設業協会の皆様であります。「地域の守り手」という言葉は、決して災害対応の面だけの言葉ではありません。継続的な質の高い社会資本の整備と維持が、地域の生活と発展を守っていくのだと思います。

今後とも、地域の安全と発展のため、お力をお貸し頂きますようお願い申し上げます、貴会のますますの御発展と会員の皆様の御活躍を祈念しまして、就任の挨拶とさせていただきます。



環境と森林の循環による持続可能な地域づくりを目指して

栃木県東環境森林事務所長 仁 平 康 介

この度、県東環境森林事務所長に就任いたしました仁平でございます。

宇都宮建設業協会の皆様には、日頃より県の環境森林行政に御理解、御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

県東環境森林事務所の管内は、宇都宮市、真岡市、上三川町、益子町、茂木町、市貝町、芳賀町の2市5町からなっております。宇都宮市北部は優れた自然を有する雄大な日光連山へと連なる丘陵地帯であり、東部は茨城県に接する八溝山地南部に位置する里山地帯です。中央部は鬼怒川などの河川が形成した関東平野が広がっています。

管内の森林面積は2万7,700haで森林率は27%となっております。地域別に見ると、宇都宮市北部は林業が盛んで、人工林率が61%と県平均を上回っています。

さて、森林経営管理法が昨年6月に制定され、本年4月から、新たな森林経営管理制度が始まるとともに、森林環境譲与税が県や市町に交付されることになります。県においては、市町や関係団体等との連携を強化し、一昨年に制定した「栃木県県産木材利用促進条例（とちぎ木づかい条例）」の趣旨も踏まえながら、森林資源の適切な管理や循環利用に努め、林業・木材産業の成長産業化に取り組んで参ります。

更には、近年の台風や豪雨災害で被災した林地の復旧等を実施することにより、将来にわたり持続可能な森林として適切な管理を促進するなど、とちぎの元気な森づくりの推進に取り組んで参ります。

貴協会の皆様におかれましては、これまで、安全で安心な県土づくりに多大なる御尽力をいただいておりますが、今後とも、引き続き御支援、御協力をお願い申し上げます。

結びに、貴協会の益々の御発展と会員の皆様の更なる御活躍を祈念申し上げます、新任の挨拶とさせていただきます。



競争力の高い農業の実現に向けた基盤づくりを目指して

栃木県河内農業振興事務所長 津 浦 好 一

この度、栃木県河内農業振興事務所長に就任いたしました津浦でございます。

（一社）宇都宮建設業協会の皆様には、常日頃から県農政の推進、とりわけ農業農村整備の推進につきまして、特段の御理解と御協力を賜り厚く御礼を申し上げます。

農業・農村を取り巻く情勢は、高齢化や人口減少が進む中、TPP11やEUとの経済連携協定の勃発、米政策の見直しなど国内外の情勢が大きく変化しております。

こうした中、県では地域の強みを生かし、子供達に夢を与え、人を惹きつける魅力ある農業・農村の実現に向け「とちぎ農業“進化”躍動プラン」及び「とちぎ水土里づくりプランⅢ」に基づき、関係機関や団体等と連携しながら各種施策を展開しております。

特に、収益性の高い園芸生産の振興を重点テーマとし、施設園芸の高度化に加え、水田を活用した新たな露地野菜の産地づくりにも取り組む「園芸大国とちぎづくり」を積極的に推進しております。

こうした施策を支えるため、農地整備事業では、これまで取り組んできた担い手への農地集積・集約化はもとより、ICT等を活用した生産コスト低減を図る「スマート農業とちぎ」に対応した生産基盤の整備を推進して参ります。また、農業水利施設の整備を推進する事により、老朽化が進む水利施設の計画的な保全・管理や農村の防災・減災対策に取り組み、安全で元気あふれる地域づくりを目指して参ります。

貴協会におかれましては、引き続き当地域の農業農村整備の円滑な推進に向け、尚一層の御支援をお願い申し上げます。

結びに、貴協会の益々の御発展と会員の皆様の御活躍を御祈念申し上げます、新任の挨拶とさせていただきます。

新任挨拶



持続的に発展を続け、光輝く『未来都市うつのみや』となるために

宇都宮市理財部長 船山 伸一

この度、宇都宮市理財部長に就任いたしました船山でございます。

宇都宮建設業協会会員の皆様には、日頃より本市の市政運営に格別の御理解、御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、本市におきましては、今後の人口減少や人口構造の変化を見据え、さらなる発展・飛躍のため、これからのまちづくりの羅針盤となる第6次宇都宮市総合計画を策定し、「未来都市うつのみや」の実現に向けてスタートするとともに、LRT事業の着工や新設小学校の建設、宇都宮駅東口地区整備事業の推進など、将来にわたり安全・安心で持続的に発展できるまちづくりが実現できるよう様々な施策に取り組んでおります。

このような中、自主財源の根幹を担う市税の役割が重要でありますことから、これまで納めやすい環境づくりの推進や納税者へのきめ細かな対応に取り組んできたところであり、新たに前年度からスタートしました市税納付推進協力事業所制度におきまして、貴協会会員の皆様には、従業員の方の納付意識の啓発やPR活動に御協力いただき、改めて感謝申し上げます。

今後とも、職員一丸となり、市税等の適正・公平な賦課徴収をスピード感をもって着実に推進してまいります。

また、入札契約制度につきましては、引き続き、透明性・競争性・公正性を確保し、価格面や品質面、地元企業の振興の観点などにおいて、総合的に優れた公共工事による社会資本整備が図られるよう、社会経済情勢を的確に捉えた制度の適正化を推進するとともに、労働者の処遇改善等につながるよう、建設業の働き方改革に対応してまいりたいと考えております。

結びになりますが、貴協会の益々の発展と会員の皆様の更なる御活躍を御祈念申し上げまして、新任の挨拶とさせていただきます。



安全で快適な暮らしを支える「都市基盤の整備」を目指して

宇都宮市建設部長 塚田 浩

この度、宇都宮市建設部長に就任しました塚田でございます。

宇都宮建設業協会の皆様には、日頃より、本市のまちづくりに特段のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、建設部におきましては、今後の人口減少や少子・超高齢社会を見据えた本市が目指す将来の姿である「ネットワーク型コンパクトシティ」の形成に向け、「公共交通ネットワークの基軸となるLRT」や「市民生活や都市活動を支える道路ネットワーク」、「自転車利用環境の充実を図る走行空間」、「河川の溢水対策」や「公共建築物や橋梁の耐震化や長寿命化の推進」など、安全で快適な暮らしができる都市づくりに取り組んでいるところであります。

このような中、今年度、「LRT事業」につきましては、優先整備区間であるJR宇都宮駅東側の2022年の開業に向けまして、各種工事等を計画的に実施するとともに、市民の皆様のマイレール意識を醸成するための停留場壁面の個性化やLRT工事見学会などを行ってまいります。西側の区間につきましては、地域の皆様等のご意見を伺いながら、LRT導入とまちづくり施策の検討を一体的に行うなど、事業化に向けて取り組んでまいります。

また、広域交流の連携促進により、地域振興や防災機能の強化等の効果が見込まれる「(仮称)大谷スマートICやアクセス道路」につきましては、工事着手に向け用地取得に取り組んでまいります。

今後とも、こうした都市基盤の整備を着実に進めてまいりますので、貴協会のご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びになりますが、貴協会の益々のご発展と会員皆様のご活躍を祈念いたしまして、就任の挨拶とさせていただきます。



「ネットワーク型コンパクトシティ」の形成を目指して

宇都宮市都市整備部長 高橋 功

この度、宇都宮市都市整備部長に就任しました高橋でございます。

宇都宮建設業協会の皆様には、日頃より、本市のまちづくりに特段の御理解と御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、都市整備部におきましては、人口減少や超高齢社会を見据え、本市が目指す「ネットワーク型コンパクトシティ(NCC)」の形成に向け、「魅力ある拠点の形成」や「地域特性に応じた土地利用の推進」、「安全・安心で快適な住環境の構築」、「都市景観や緑の保全・創出」などに取り組み、暮らしやすく魅力ある都市空間の形成や自然豊かな都市環境の創出などに努めているところであります。

このような中、今年3月には、本市都市計画の基本方針となる「第3次宇都宮市都市計画マスタープラン」の策定をはじめ、NCCを具現化するため都市機能誘導区域や居住誘導区域等を定めた「立地適正化計画」、LRT整備や日本遺産の認定を受けた大谷地域の地域振興・観光振興等と連携しながら良好な景観形成を目指す「景観計画」の改定を行いました。

今年度は、NCCの実現を目指し、都市機能誘導施設地促進補助やマイホーム住宅取得支援事業補助などの各種支援策を活用しながら都市拠点や地域拠点等への機能誘導を積極的に図るとともに、安全で快適な居住環境を形成する土地区画整理事業等や市民が誇れる個性的で魅力ある景観づくりを進めながら誰もが住みやすく、そして住み続けたいと思えるまちづくりに取り組んでまいりますので、今後とも、貴協会の御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びになりますが、貴協会の益々の発展と会員の皆様の更なる御活躍を御祈念申し上げまして就任の挨拶とさせていただきます。

2019.6.4 火

青年の会 活動報告 通常総会

令和元年6月4日（火）、ホテルニューイタヤにおいて宇都宮建設業青年の会、令和元年度通常総会が開かれた。はじめに庭野宏隆会長（㈱庭野建設）より、「平成最後の年に任期を無事務めることができたのは、会員の皆様のおかげであり、今後は会の発展に尽力したい」と感謝の気持ちを表し議事に入った。

平成30年度事業経過報告ならびに収支決算報告、および令和元年度事業計画ならびに収支予算が原案どおり可決され、続く役員改選では、野中伸之助新会長（野中建設㈱）をはじめとする新体制が満場一致で承認された。野中新会長は「社会の下支えでもある我々建設業界が必要不可欠な存在として積極的にアピールし、様々な情報を共有し当活動を通して建設業の魅力・存在価値を高め、業界発展の一助となれば」と抱負を述べた。

総会終了後、「宇都宮建設業協会のあゆみ」と題して本年度第1回講習会を行った。来賓として宇都宮建設業協会より渡邊勇雄顧問、入江和夫顧問、増渕薫会長をお招きし、若手からの質問、意見等にも快くお答えいただき、大変有意義な研修会となった。

懇親会では、新加入者3名が紹介され、抱負と意気込みを各々述べた。また、青年の会を卒業となった鈴木隆之氏（岩村建設㈱）へ記念品が贈呈され、青年の会での長年の活動に感謝の意を表した。

（佐々木）

【主な事業計画】

- ①宇都宮城址まつりへの参加・協力
- ②宇都宮マラソン大会への協力
- ③会員相互の親睦事業
- ④意見交換会
- ⑤その他（献血活動・総合学習支援など）



野中新会長



庭野前会長

令和元年度 宇都宮建設業青年の会 執行部名簿

会 長	野 中 伸之助	[野 中 建 設 ㈱]
副 会 長	入 江 誠	[大 幹 建 設 ㈱]
同	入 江 克 拓	[㈱ 入 江 組]
幹 事 長	田 仲 重 啓	[㈱ 元 重 建 設]
幹 事	菊 池 祥 一	[山 本 建 設 ㈱]
同	津野田 哲	[㈱津野田土木]
同	大 槌 一 浩	[八 幡 建 設 ㈱]
同	増 渕 勝 明	[㈱ 増 渕 組]
同	古 橋 和 樹	[古 橋 土 建 ㈱]
会 計	亀和田 辰 紀	[米 弥 工 業 ㈱]
会計監査	渡 邊 幸 雄	[中 村 土 建 ㈱]
同	庭 野 宏 隆	[㈱ 庭 野 建 設]

新 入 会 員

佐 藤 博 之	[㈱堀江ソーケン]
福 田 嘉 貴	[㈱ 興 建]
轟 昂 洋	[日 豊 工 業 ㈱]



新執行部



新加入者



卒業生（左：鈴木氏）

2019.5.19日



一般国道408号宇都宮高根沢バイパス 開 通 式



栃木県は5月19日、一般国道408号宇都宮高根沢バイパスの開通式を宇都宮市刈沼町地内で開催した。

開通したのは全6.6kmのうち、清原工業団地に近い野高谷交差点から、高根沢方面へ2.6km。開通により野高谷交差点から北へ5.3km、主要地方道宇都宮那須烏山線鷺ノ谷交差点（高根沢町）までが暫定2車線で供用し、真岡方面から高根沢方面までが結ばれた。

式には福田富一知事や国会議員、県議会議員、佐藤栄一宇都宮市長らが出席し、テープカットやくす玉開披で供用を祝った。

福田知事は挨拶の中で「南北幹線道路の開通は鬼怒川左岸の大規模産業団地への渋滞緩和とともに物流の円滑化が図られる」と述べ、用地提供者らに感謝の意を伝えた。そして、引き続き大産業団地群の南北を結ぶ大動脈の4車線化整備と広域ネットワークの強化をし、県の発展と愛着・誇りを持てる栃木をつくっていきたくと締めくくった。

佐藤宇都宮市長は、「408号宇都宮高根沢バイパスは、全国との交流・連携の基盤となるコリドールネットワーク構想におけるスカイコリドールを構成する路線であり、本路線が整備される本市の東部、鬼怒川左岸地域は、産業拠点として位置付けた清原工業団地や

テクノポリスセンター地区をはじめ、周辺市町の大規模な工業団地が集積しており、今般の開通により物流の効率化が図られ、産業の競争力や成長力が高まるなど、今後益々の発展が期待される場所である。引き続き全線4車線化に向け変わらぬご支援をお願いしたい」と述べた。「スカイコリドール」とは成田国際空港、つくば及び福島空港を介して産業・文化・科学技術などの国境を越えた多彩な交流を目的とするネットワークのこと。

式終了後は、地元板戸若福会のお囃子が聞こえる中、県警のパトカーを先頭に、交通安全を祈って参列者による通り初めが行われた。

(原)





「令和時代も美しく」

2019.3.26(火)

平成31年3月26日、今年最初の、そして平成では最後となる「愛りバーとちぎ」河川清掃活動を行いました。

午前9時より約2時間、会員企業より20名が参加し、担当する建設委員会メンバーとの総勢33名が4班に分かれ1級河川田川の幸橋から押切橋、また宮の橋付近など沿岸のゴミ拾いや草刈り作業を行いました。

平成18年度からスタートした「愛りバーとちぎ」は、これまで県や市町、企業、ボランティア団体など多数の皆様方のご協力もあり、建設業のイメージアップと河川環境を守る目的として取り組んでまいりました。

今後も、きれいな河川環境の維持活動を継続的に実施し、清掃活動を行っていく予定です。関係各位、会員企業の皆様のご協力をお願いいたします。



(亀和田)



「令和時代も安全に」

2019.5.14(火)

令和元年5月14日(火)、曇天の中、安全委員会によるパトロールを行いました。

当日は、お忙しい中ご参加いただいた宇都宮労働基準監督署の斎藤安全衛生課長によるご指導のもと、宇都宮建設業協会の安全委員3名、計4名で工事現場のパトロールを実施しました。

朝礼で斎藤安全衛生課長より「労災発生状況が全体で昨年より減少して推移しており、我々建設業では半分以上減少している。事故の約3割が転倒によることで発生している」との近頃の労働災害の発生状況を確認させていただきました。

パトロールは午前中のみで、土木3現場を巡視し、宇

建協に戻り講評という日程で行われました。

講評では、今後の安全管理の提案などが話し合われました。

なお、実施されたパトロール現場は次のとおり。

- 公共下水道築造工事 第4工区
福田土木造園(株)
- 道路改良工事
(都市計画道路3・4・102号 宇都宮日光線 一条)
三信電工(株)
- 道路改良工事 分割2号
(都市計画道路3・4・102号 宇都宮日光線 一条)
ウスイ工業(株)

(若林)



編集後記

今年の新入社員は令和時代を切り開く特別な世代になります。

「型」という記事は、新年度入りすると毎年あちこちで見かけます。今年の新入社員は「AIスピーカー型」と言われています。多くの人がAIスピーカーって面白そう、欲しいと興味を持っているその様子が、売手市場のなかで採用された今

年の新入社員としてとても似ていると考えたためです。

さて、宇建協の総会も無事に終わり、今年もいろいろと行事があります。総務委員会主催の行事もたくさんあります。会員相互の親睦を図り、深く関わって皆さんと共に協会発展に努めていきますので今年度もよろしくお願いいたします。

(渡邊)

